

1 題材名「生殖機能の成熟」

2 題材について

小学校の高学年より中学生期にかけて、思春期による体の変化と自我の目覚めにより、異性に対する関心が一段と高まる。特に、人間の生命誕生に関わる内容については強い関心を示すようになる。しかし、今日のような情報化社会では、不正確な情報や好ましくない情報が氾濫し、生命誕生に関わる正確な知識を得るためには、情報を適切に選択する力が必要である。小学校では、体の発育・発達の一般的な現象や個人差、思春期の体つきの変化や初経、精通などを学習している。一方、性機能の成熟の時期や程度には、人によって違いがあることを指導することで個人差について不安にならないよう配慮する。

3 目標

- ・生殖機能の成熟について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。
- ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られることについて、説明することができる。

4 教科、領域などとの内容的関連

- (1) 理科 「生物の殖え方」
- (2) 技術・家庭 家庭分野 「A 家庭・家族と子どもの成長 B 家族と家庭生活」
- (3) 特別の教科 道徳 B-8 友情、信頼 D-19 生命の尊さ
- (4) 特別活動 学級活動 (2) 適応と成長及び健康安全
 - ア 思春期の不安や悩みとその解決
 - ウ 性的な発達への適応

5 指導展開例 (1/3)

□:ねらい・課題

■:学習内容

⋯:発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入	<p>1 VTRを見て、人間が生まれてくるまでの奇跡について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4億個の精子の中から、たった一つだけが結び付く奇跡を知る。 <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卵子だけでは大きくなることはできないから、精子も重要な役割を果たしているのかな。 ・命のもととはとっても小さいのに人間の成長はすごいな。 	<p>○精子が子宮にたどり着くまでの困難な道のりがあり、それを経て初めて受精卵となり、命が育まれてくる奇跡を確認する。</p>
展開	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">生命を誕生させる体に成長するということは、どんなことだろう。</p> <p>2 思春期に現れる男女それぞれの変化について考える。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">思春期になると、男らしい、女らしい体つきの変化が少しずつ見られるようになります。どのような変化があるか話し合ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合い、男らしい、女らしい体つきの変化などをワークシートに記入する。 <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひげがはえてくる。 ・のどぼとけが出てくる。 ・体が丸みをおびる。 ・乳房が発達する。 ・月経が始まる。 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの体つきの変化を発表する。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">なぜこのような体の変化が現れてくるのでしょうか。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに予想を記入する。 ・女性は、体内で赤ちゃんを育てるから腰回りに脂肪をつけて、赤ちゃんを守るのではないか。 ・男性は、生まれてくる赤ちゃんを守り、お母さんを助けるためにがっちりした体形になるのではないか。 <p>3 ワークシートに思春期の急速な発育について記入する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">思春期には、脳の下垂体から性腺刺激ホルモンが分泌され、生殖器が発育し、生殖機能が発達すること。女性では月経、男性では射精が起こる。</p>	<p>○男女別（4人程度）のグループになり、話しやすい雰囲気をつくる。</p> <p>○性別ごとに体つきの変化を整理する。</p> <p>○思春期には、脳の下垂体から性腺刺激ホルモンが活発に分泌され、その働きにより生殖器が発育し、精子や卵子が作られることや月経・射精についても説明する。</p> <p>◆思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。(ワークシート)</p>

5 本時の学習のまとめをする。

ま
と
め

体は少しずつ成長して、命をつなぐための準備をしています。命のつながりについて、考えてみましょう。

- VTR を見て、一つの命が誕生する大変さとその大切さを知る。
 - ワークシートに本時の感想を記入する。
- 〈予想される反応〉
- 性について知らないことが多くて、気持ち悪いなどと考えていたこともあった。
 - それぞれの性の役割があることを知って、命が誕生する大変さを知った。命を大切にしようと思った。

○一つの命が誕生するまでには、大変な困難な道があることを伝える。

○今日の学習を振り返って感じたことをワークシートに記入させる。

◆生殖機能の成熟について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。(観察・ワークシート)

6 資料・教具

【指導上の留意点・工夫など】

○このような体の変化は誰にでも起こることであり、なぜ起こるか知っていれば、不安になる必要はなく、思春期の体の変化は命をつなぐための大切なことであると伝える。また、体の変化には個人差があるため、体つきの変化について過敏になる必要はないことも伝える。

- VTR 資料【小さな生命の詩／LIFE BEFORE LIFE】
- 赤ちゃんの人形 (保健センター)
- VTR 資料【命の大切さ】 自作

【板書 (例)】

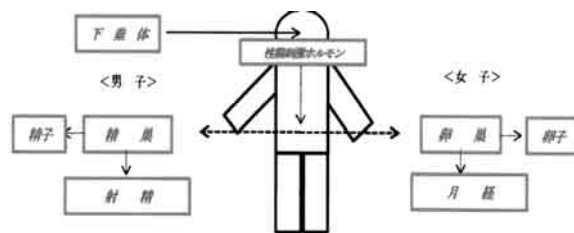
生命を誕生させる体に成長するということは、どんなことだろう。

〈男らしい〉

- ひげがはえる。
- のどぼとげが出てくる。
- 筋肉が発達する。
- 声変わりをする。

〈女らしい〉

- 体が丸みをおびる。
- 乳房が発達する。
- 月経がはじまる。



【学習カード（例）】

〈保健ワークシート〉

組 氏名 _____

生命を誕生させる体に成長するという事は、どんなことだろう。

- 1 思春期になると、男らしい、女らしい体つきの変化などが少しずつ見られるようになります。どのような変化があるか話し合ってみましょう。

〈男らしい〉

- ・ ひげがはえてくる。
- ・ のどぼとけが出てくる。
- ・ 筋肉が発達する。
- ・ 声変わりをする。

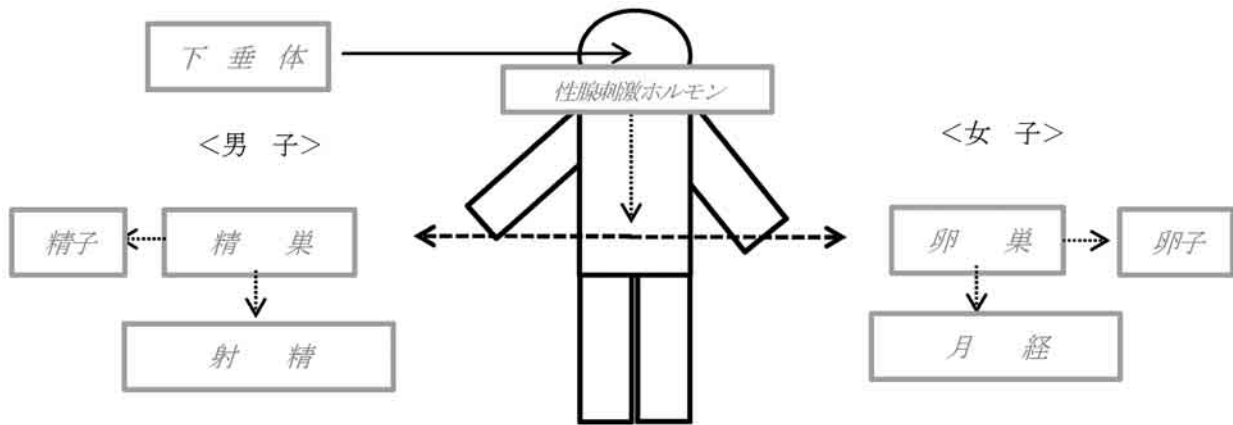
〈女らしい〉

- ・ 体が丸みをおびる。
- ・ 乳房が発達する。
- ・ 月経が始まる。

- 2 なぜこのような体の変化があらわれてくると思いますか。自分の考えを書きましょう。

- ・ 女性は、体内で赤ちゃんを育てるから腰回りに脂肪をつけて、赤ちゃんを守るのではないか。
- ・ 男性は、生まれてくる赤ちゃんを守り、お母さんを助けるためにながちりした体形になるのではないか。 など

- 3 思春期の体の変化について



- 4 体は少しずつ成長して、命をつなぐための準備をしています。命のつながりについてどう考えますか。

- 5 今日の感想を書きましょう。

1 題材名「性情報と私たち」

2 題材について

中学生の時期は思春期の訪れとともに性に関する関心が高まり、自ら性情報を求めるようになる。急速な情報技術の進化に伴い、情報が氾濫している現代社会においては、主にインターネットからの情報が主流であり、手軽に利用できる一方で不正確な情報や好ましくない情報なども同時に知ることもある。携帯電話・スマートフォンの普及により、このような傾向は一層強まっている。

そこで、本題材では性に対する正しい理解を基盤に、生徒が性情報の情報源の多さに気付き、自分たちにとってどのような意義や価値があるのかを考え、性情報を適切に取捨選択する大切さを知ることを理解させる。また、大量の性情報が無秩序に流布している、現在を生きる生徒の行動選択の能力を高め、正しい認識を深めることで、自己の成長発達に役立てる態度も育てていきたい。

3 目標

性の情報源には様々なものがあることに気付くとともに、性情報の意義や価値について考えを深め、適切に対応できるようにする。

4 教科、領域等との内容的関連

- (1) 保健体育 「(1) 心身の機能の発達と心の健康 (性とどう向き合うか)」
- (2) 技術・家庭 「D 情報に関する技術 (1)情報通信ネットワークと情報モラル」
- (3) 特別の教科 道徳 B-8 友情、信頼
- (4) 特別活動 学級活動 (2)適応と成長及び健康安全 ウ 社会の一員としての自覚と責任

5 指導展開例

□:ねらい・課題

■:学習内容

⋯:発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入	<p>1 本時の内容「性情報の扱い」について簡単な説明を受け、情報について考える。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">情報はどんなところから手に入れますか。また、どのくらいの数の情報があると思いますか。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ／インターネット／本／雑誌など <p>2 情報の性質について考える。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">それらの情報はどんな性質をもっていると思いますか。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">同じ情報源でも信頼性に違いを感じるのはどうしてだと思いますか。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼できないものがある ・個人で無責任に作っている場合がある <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">性情報が得やすいものの中には、信頼性の低いものが潜んでいる。</p>	<p>○情報の数が膨大にあるように、性情報の数も膨大にあることに気付かせることで、本時の目標につなげるようにする。</p> <p>○ワークシートを配付。</p> <p>○性情報の信頼性の高さ、情報の得やすさを考え、ワークシートに記入させる。</p> <p>○黒板の分布表に貼り付けさせ、分布を見て信頼性の高さについて考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ピンク：インターネット 青色：テレビ 緑色：雑誌、本 黄色：新聞</p> </div>
展開	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">正しい知識を得るためには、どんなことに気を付けるとよいのだろう。</p> <p>3 資料①を読み、インターネットから手に入る情報の意義と問題点について考える。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">資料①に挙げたインターネットサイトの使用について、長所と短所を考えよう。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <p>長所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が早く手に入る。 ・書き込んだりすることで意見を聞ける。 <p>短所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰が書いているのかわからない。 ・間違っただけでも早く広まっていく。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">インターネットには手軽に情報を得られる便利さがある一方で、匿名性が高く、信頼性の低い情報もあることから適切な取捨選択が必要。</p>	<p>○資料1を配付し、教師が読む。</p> <p>○長所と短所をワークシートに記入したのち、グループで意見交流、発表させる。</p> <p>○インターネットから得られる情報の意義や価値と問題点の両方に気付かせる。</p> <p>○手軽に情報のやりとりができるSNSの普及により、意思疎通が十分に果たせずにトラブルになった事例を紹介する。</p> <p>○交流サイトなどを利用した犯罪が増加していることについて触れる。</p>

展 開	<p>4 資料②を読み、Aくんがどうなったかを予想する。また、その理由を考える。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">Aくんはどうなっただろうか？ また、それはどうしてだろうか？</p> <p>〈予想される反応〉</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どうなったか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後ろから抱きついて失敗した。 ・このあとの学校生活も嫌な雰囲気になった。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当のことなのか確かめなかったから。 ・インターネット上に書かれていることを信用したから。 	<p>○資料②を配付して、概略を説明する。</p> <p>○Aくんがこの掲示板の内容を参考にして、そのまま実践して失敗したケースを想定させる。</p> <p>○インターネットの持つ匿名性にも触れ、それによって掲示板の書きぶりがどのようになっているかにも注目させる。</p> <p>○保健体育科保健分野との関連を図り、男女による意識の違いなどにも気付かせる。</p>
ま と め	<p>5 多くの性情報から正しい知識を得るためにはどうしたらいいかを考える。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">性情報の中から正しい知識を得るには、どのようにしたらいいだろうか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>現代の性情報は膨大な量があり、責任をもって取舍選択する力が必要となる。そのためには、得た情報についてさらに自ら調べ、正しい知識へと発展させようとする態度が大切である。</p> </div> <p>6 性情報について感じたこと、学んだことをまとめる。</p>	<p>○性情報への適切な対応について、ワークシートに記入させる。</p> <p>○ホワイトボードを配付し、意見をまとめさせて発表させる。</p> <p>◆性の情報源には様々なものがあることに気付くとともに、性情報の意義や価値について考えを深めることで、適切に対応できるようになる。</p> <p>○様々な情報を比べたり、書いた人の立場を考えたりするほか、直接相談することの大切さにも気付かせる。</p> <p>○ワークシートに記入させる。</p>

指導上の留意点・工夫など

- 学年や学級の発達の段階を踏まえ、発問や提示資料を工夫する必要がある。また、実態に応じた適切な指導のために、事前に意識調査等を行っておくことも有効である。
- 情報機器への慣れのほか、性をめぐる意識についても個人差があることや、男女で関心のもち方に違いがあることについても保健体育科での学習内容と関連させて触れておきたい。

6 資料

板書例

<p>男子</p> <div style="text-align: center;"> <p>得やすい</p> <p>↑</p> <p>信頼性 高い ← 信頼性 低い</p> <p>↓</p> <p>得にくい</p> </div>	<p>インターネットの…</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">長所</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">短所</p> <p>-----</p> <p>-----</p>								
<p>女子</p> <div style="text-align: center;"> <p>得やすい</p> <p>↑</p> <p>信頼性 高い ← 信頼性 低い</p> <p>↓</p> <p>得にくい</p> </div>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 40px; text-align: center;">ホワイトボード</td> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 40px; text-align: center;">ホワイトボード</td> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 40px; text-align: center;">ホワイトボード</td> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 40px; text-align: center;">ホワイトボード</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 40px; text-align: center;">ホワイトボード</td> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 40px; text-align: center;">ホワイトボード</td> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 40px; text-align: center;">ホワイトボード</td> <td style="border: 1px solid black; width: 25%; height: 40px; text-align: center;">ホワイトボード</td> </tr> </table>	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード
ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード						
ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード						

ワークシート

性情報と私たち	3 組 12 番 氏名 〇〇 〇〇
---------	----------------------

1) 下の表に、それぞれの情報の性質を考えて、記号を記入しよう。
インターネット○ テレビ△ 雑誌、本★ 新聞一◎

得やすい 信頼性 高い ← 低い 得にくい	それぞれの理由	
	ネット	簡単 早い 誰が書いてあるかわからない
	テレビ	手軽 フリフリいところある
	雑誌、本	探さないといけない 本当のことが多そう
	新聞	欲しい情報を探すのが大変 本当のこと多い

2) インターネットの長所と短所を考えてみよう。

長所	短所
<ul style="list-style-type: none"> 検索すれば簡単に知ることができる 情報をやりとりできる 意見を書き込んだりできる 情報が早い など	<ul style="list-style-type: none"> 誰が書いてあるかわからない 情報が多すぎる 間違ったことでも早く広がる なりすましなどができてしまう など

3) 多くの性情報から正しい情報を得るにはどうしたらよいらうか？

・一つのことだけを信用するのではなく、色々な情報を比べる。
 ・実際に会って話したり、相談したりする。
 ・本当のことではないかもしれないと疑いながら情報を見る。
 ・書いた人がどういう立場で書いたのかを考える。

など

4) 今日の授業で感じたこと、学んだことを書こう。

・一つの情報だけを見て判断することは怖いことだと思った。
 ・(男子) 自分はいいと思っても、女子の立場では嫌なこともあるのだと思った。
 ・(女子) 男子はどつうぶつに考えるのか分かった。ちゃんと話をしたいけないと思った。
 ・インターネットには無責任なことがたくさん書かれているので、比べてみたり、よく考えたりしながら、正しい判断をしていかなければいけないと思った。

など

【資料①】インターネットの特徴について知り、性情報との関連、問題点について考えよう。

①様々なホームページ
例：Wikipedia

Wikipediaとは、非営利団体のウィキメディア財団(Wikimedia Foundation)が主催している。利用者が自由に執筆できるインターネット上のフリー百科事典。(中略) 誰でも無償で自由に利用(複製・改変・頒布・販売など)することができる。

IT用語辞典 e-words より (<http://e-words.jp/>)

- ◆利用者が「自由に」執筆できる。
- ◆誰でも無償で「自由に」利用できる

②SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス) 例：LINE、Twitter、Facebook など

SNSとは、人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供する。会員制のサービスのこと。

同上

- ◆近年、急速に普及しており、会ったことのない人ともやりとりできる。
- ◆自分の情報、写真なども載せることができる。
- ◆交流サイトを利用した犯罪が、過去最多に(2015年)。

③掲示板(BBS) 例：2ch、Yahoo!知恵袋など

BBSとは、参加者が自由に文章などを投稿し、書き込みを返すことでコミュニケーションできるWebページ。掲示板の開設者がタイトルやテーマなどを決め、参加者が内容に沿った書き込みをしていく。投稿は時系列あるいは記事の参照関係を元に並べられ、参加者が一覧できるように表示される。

同上

- ◆顔が見えない相手とのやりとり。
- ◆話題に無関係な広告メッセージが出ることも増えている。

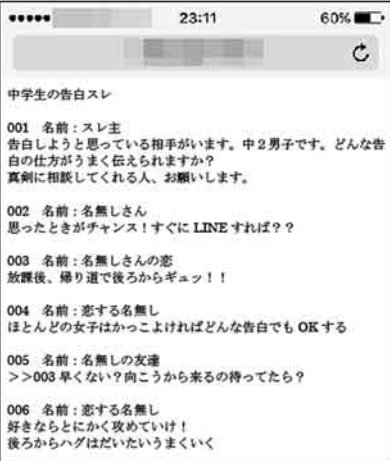
どの情報源も、パソコンはもちろん、スマートフォンや携帯電話を使って、気軽に、簡単に使用することができる。



その手軽さから、トラブルや犯罪に巻き込まれることも!

【資料②】ケーススタディ

○中学1年生のAくんは、明るく元気な性格で、友達づきあひもよい。しかし、これまではあまり気にならなかったのに、最近女子の視線や自分がどう思われているかが気になっている。さらに、同じクラスのBさんのことが好きで、どうしたら自分の思いが伝えられるかを考える日々が続いていた。悩んだAくんは、インターネットで参考になる情報を探し、次のようなページにたどり着いた。



○翌日の放課後、Aくんはこの情報を参考にしてBさんに告白することを決意した。果たしてAくんは…?

1 題材名「性の悩みや不安の解消」

2 題材について

思春期の生徒たちは急速に発育・発達していく体の変化に悩み、戸惑い、インターネットや雑誌、友達からの間違った情報を得て、間違った行動選択に向かうことがある。

また、自我の目覚めとともに自己主張も強くなるため、周囲の大人への反抗や自身の感情をコントロールできない状況も生じ、自己を見失う行動を起こしてしまうこともある。

そこで、思春期における体の変化が著しいこの時期に正しい知識を身に付け、自己理解を深めることによって、思春期特有の不安や悩みに適切に対処できると考え、本題材を設定した。

3 目標

- ・思春期の体や心の変化とそれに伴う不安や悩みについて理解を深めことができるようにする。
- ・不安や悩みを受けとめ、解決に向けた適切な行動選択ができるようにする。

4 教科、領域等との内容的関連

- (1) 保健体育 「生殖機能の成熟」(1年)
- (2) 保健体育 「性とどう向き合うか」(1年)
- (3) 特別の教科 道徳 B-8 友情、信頼
- (4) 特別活動 学級活動 (2)適応と成長及び健康安全

5 指導展開例

□:ねらい・課題

■:学習内容

⋯:発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入	<p>1 中学生期になってからの自分の心身の成長を振り返る。</p> <p>中学に入学してから現在までを振り返り、自分が成長したと思うところを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生期の自分の心身の成長を考える。 小学校の時には考えたり感じたりしなかったことが、不安や悩みとして感じていくことに気付く。 	<p>○不安や悩みだけではなく、成長したことにも目を向けさせる。</p>
展開	<p>思春期の不安や悩みについて考えよう</p>	
開	<p>2 中学生になってから新たに不安や悩みとして感じていることを想起する。</p> <p>自分に起きている気になることに、どんなことがあるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体や性に関する不安や悩みだけでなく、思春期特有の悩みや不安について考える。 <p>思春期に、なぜ不安や悩みが起こってくるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みなどの原因を考える。 科学的な知識の不足 インターネットやメディア、友達からの情報が正確でなかった 自分の心のもち方 	<p>○学級の雰囲気によっては自分を表現しにくいことも考えられるので、意見の発表方法については事前アンケートを利用するなど、学校や各学級の実情に応じて工夫する。</p> <p>○個人差があること、自分だけに悩みなどがあるのではないことに気付かせる。</p>
	<p>3 グループで話し合いをし、原因となることをより幅広く考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原因として考えたことを交流する。 	<p>○話し合いやすい雰囲気をつくるよう留意する。</p> <p>○男子同士、女子同士など話し合いがしやすいようグループ編成を工夫する。</p> <p>◆思春期の体や心の変化と、それに伴う不安や悩みについて理解したことを言ったり、書き出したりしている。</p>
	<p>4 中学生期の不安や悩みの望ましい解決方法を考える。</p> <p>不安や悩みの解決のためにはどうしたらよいだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みの原因を整理し、一人一人が解決方法を考える。 	
	<p>5 グループで話し合い、解決方法をより幅広く考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで不安や悩みを種類や原因ごとに分類し、それぞれの解決方法を考える。 各グループで出た考えを学級全体で交流する。 他のグループの意見を聞き、自分の考えと比較する。 	<p>○一人一人の考えが否定されないよう留意する。</p> <p>○不安や悩みの幅は広く、他人との比較やあこがれ、権威への反発などから生ずるものなど様々である。授業を進める上では、幅広い悩みを出させたのち、分類して、すぐに解決できる（する）もの、時間をかけて解決していくもの等に整理すると、不安の幅が軽減する。</p>

展 開	<p>みんな同じように不安や悩みをもっていることを知り、自分に合った解決方法を考え、対処していくことが大切。</p>	<p>○多くの意見があることに気付かせるよう留意する。</p> <p>○他の人の意見も取り入れながら、自分に合った解決方法を考えさせるように留意する。</p>
ま と め	<p>6 授業を振り返り、自分のもっている不安や悩みへ解決方法を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の不安や悩みに対して、自分に合った解決方法を考える。 ・今日の授業を振り返り、自己評価をする。 	<p>◆自分の不安や悩みを見つめ、その解決に向けた適切な行動選択の方法を説明することができる。</p>

6 指導上の留意点・工夫など

- ・性に関する不安や悩みには、無知や誤解など正確な知識が欠如しているために起こるものや、自分の心のもち方によるものがあることを知らせる。
- ・異性に対する関心や異性との関わりから不安や悩みが発生する場合もあるが、異性を尊重するという立場から考える事が重要であることを理解させる。
- ・性に関する不安や悩みは、インターネットやメディア、友人などの影響を受けやすいため、よりよい解決のためには、早期に信頼できる人や相談機関に相談することが大切なことを理解させる。

7 資料

(1) 事前アンケート項目 (例)

①中学校に入学してから現在まで、自分の心がどのように変化してきましたか。

②あなたは、今どんな不安や悩みがありますか。(選択肢)

- ・先生や家族、まわりの人への不満が増えたり、反抗的になったりした。
- ・イライラすることが多くなった。
- ・小さなことで悲しくなることがある。
- ・独りになりたい時がある。
- ・進路や将来のことを考えるようになった。
- ・髪型や服装を気にするようになった。
- ・異性を気にするようになった。
- ・友達とエッチな話をしたり、エッチな写真やホームページなどを見たりするようになった。
- ・男女交際で悩みがある。
- ・自分の体の変化について不安や悩みがある。
- ・射精や月経のことで悩みがある。
- ・性に関する病気のことで悩みがある。

③なぜ、不安や悩みが起こると思いますか。

(2) ワークシート (例)

○月○日(○)2年 ○組 名前 札幌 雪雄

学習課題：

思春期の悩みや不安について考えよう。

1 いろいろな不安や悩み

ささいなことでくよくよ考えるようになった。
ちょっとしたことで腹が立つことが多くなった。
気になる女の子がいる。

2 不安や悩みの原因

①自分の考え

正しい知識をもっていなかった。
友達の話が違っていた。

②グループで出た新しい考え

自分の気持ちの持ち方。
自分で自分の気持ちをコントロールできていない。
運動不足

3 不安や悩みの解決方法

①自分の考え

勉強に集中する。 新しい趣味を見付ける。

②グループで出た新しい考え

部活にもっと力を入れて体を動かす。

③学級で出た新しい考え

信頼できる先輩や友人と話をする。
スクールカウンセラーの先生に相談してみる。

4 今日の授業を振り返って

今日の授業で、自分だけではなく、みんないろいろな不安や悩みをもっていることがわかり、少し安心しました。

僕は部活に入っているので、もっと部活に力を入れてモヤモヤした気持ちを吹き飛ばそうと思いました。

【今日の自分】

今日の自分は進んで話合いに参加しましたか。

④ ・ 3 ・ 2 ・ 1

今日の自分は積極的に考えていましたか。

④ ・ 3 ・ 2 ・ 1

今日の授業から新しい発見はありましたか。

④ ・ 3 ・ 2 ・ 1

今日の授業は自分の成長のためになりましたか。

④ ・ 3 ・ 2 ・ 1

1 題材名「異性の理解」

2 題材について

中学2年生は、中学校生活の半分を過ごし、生徒の人間関係に慣れが生じるとともに複雑化する時期でもある。異性との関係も、ただの友人関係から、特定の異性との交際へと発展する生徒も出てくる。

生徒は、様々な人間関係の中で、男女交際はとかく二人だけの関係と考えがちである。そこに他者の行動や感情が入り込んでくることで、複雑な感情をもったり、その感情を自分本位に他者に向けたりすることもある。

本題材では、これまでに培った「他者、そして異性の考え方の違いに気付き、受け止め、理解しようとする」意欲や態度をさらに育み、中学生として異性との望ましい関係作りについて具体的に考えられるようにしたい。

3 目標

- ・男女が共に、悩みや葛藤を克服することで、より一層深い人間関係を構築していこうとする意欲や態度を育てる。
- ・男女が共に、互いの個性を認め、相手への尊敬と幸せを願う思いの大切さを理解できるようにする。

4 教科、領域等との内容的関連

- (1) 特別の教科 道徳 B-6 思いやり、感謝 B-9 相互理解、寛容
- (2) 特別活動 学級活動 (2) 適応と成長及び健康安全
- ア 思春期の不安や悩みとその解決 イ 自己及び他者の個性の理解と尊重
- エ 男女相互の理解と協力 オ 望ましい人間関係の確立

5 指導展開例

□ : ねらい・課題

■ : 学習内容

□□□ : 発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入	<p>1 A子の日記を読み、登場人物（中学2年生のA子・B男）の関係を理解する。</p> <p>【A子の日記】もうすぐBくんの誕生日。今年は部活で使えるタオルにしようかな。Bくん、バスケット部のキャプテンだし、バスケットがめっちゃハードだもんね。小学生の頃からよく応援に行ったなー。どんどん上手になって…ほんとカッコいいんだよね。付き合って2度目の誕生日。どんなタオルなら喜んでくれるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人は小学校時代から仲が良い。 ・昨年のBくんの誕生日より前に付き合い始めたようだ。 	<p>○中学生にとって、交際相手にプレゼントを贈るイベントについて想像を促す。(誕生日、クリスマス、バレンタインなど)</p> <p>○ICT機器を活用し、日記を拡大して生徒に提示する。</p>

2 【場面①】を読んで、自分は誰に対してどのような思いをもつかを考える。

【場面①】今日は（彼氏・彼女）の誕生日です。もちろんあなたは恋人の誕生日プレゼントを準備していますが、恋人は別の異性から誕生日プレゼントをもらっていました。あなたは、誰に対して、どんな思いをもちますか？

○A～Cさんの考え方の例を見て、自分はどの考え方に近いかを、黒板に示したA～Dの下にネームプレート等を貼って表明する。

次の3人の考え方のうち、自分に一番近い考え方を選ぼう。

A：異性に対し **ライバル心** を抱きプレゼントで勝負しようとする

B：彼氏・彼女に対して「人気があるな」と思いつつ **やきもち** をやく

C：異性や彼氏・彼女に対して **怒る**

D：その他

○なぜその考えに近いのかを発表する。

〈予想される反応〉

- ・他の人も好きなのかなと不安になる。
- ・自分という相手がいるのに、なぜプレゼントを受け取るのか信じられない。
- ・プレゼントぐらいで、特に何も思わない。

3 【場面②】を読んで、自分はどのような思いをもつかを考える。

【場面②】今日はあなたの誕生日です。思いがけず（彼氏・彼女）以外の異性から、想いのこもった誕生日プレゼントを渡されました。あなたはどんな思いをもちますか？

○A～Cさんの考え方の例を見て、3人がほぼ共通の考え方であることを知る。

○A～Cさんの考え方への共感度を、心情円盤を用いて表明する。

A～Cさんは、プレゼントをもらって嬉しい気持ちだが、「もらったことは彼氏・彼女に秘密にする」と考えています。「秘密にする」という考えに共感できますか。共感できるを「赤色」として、共感度を表明しよう。

○なぜ「秘密にする」「秘密にしない」のかをそれぞれ考え、意見を交流する。

〈予想される反応〉

- ・彼氏・彼女が怒りそうだから、秘密にする。
- ・プレゼントぐらいで言う必要はない。
- ・後でばれる方が採め事になる。
- ・信じているから言う（言わない）。

○【場面①】を拡大してICT機器で生徒に提示する。

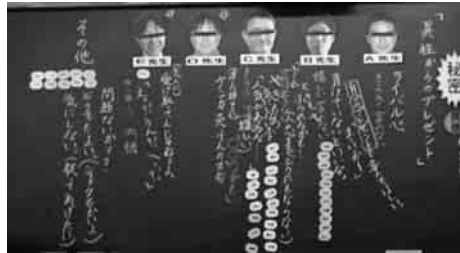
○【場面①】の状況について、自分に置き換えて考えるよう促す。

○例として3人の考えを紹介する。

○A～Cさんの考え方の例をICT機器で生徒に提示する。**資料1**

○A～Cさんの考え方と違う場合はDとする。

○事前に教師にアンケートをとり、考え方の例として活用するなどの工夫をしてもよい。**資料5**



○生徒自身の考えを具体的に発表させる。

○生徒の意見を板書する。

○様々な考え方があることに気付かせる。

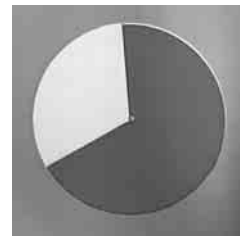
特に、近い考え方として同じものを選んでいても、実際の気持ちや理由が異なることに、目を向けさせる。

○【場面②】を拡大してICT機器で生徒に提示する。

○【場面②】の状況について、自分に置き換えて考えるよう促す。

○A～Cさんの考え方の例をICT機器で生徒に提示する。**資料2**

○心情円盤での気持ちの表明の仕方を確認する。**資料3**



資料6 心情円盤（後述）

○心情円盤で顕著な考えを表明している生徒を中心に意見を発表させると、考え方の違いに気付かせやすい。

○生徒の意見を板書する。

○様々な考え方があり、相手のことを考えている結果だとしても行動が異なることに、生徒が気付くように促す。

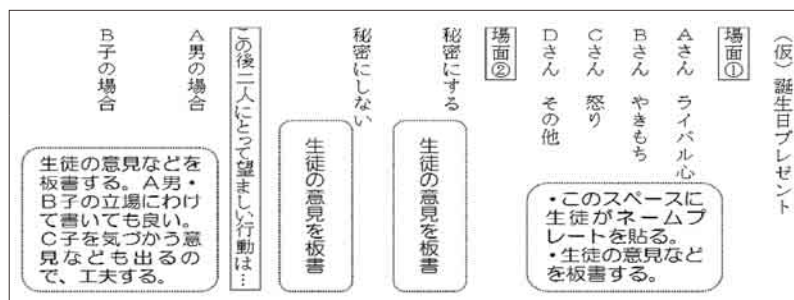
よりよい交際を続けるためにはどんなことが大切だろう

展開	<p>4 【場面③】を読んで、自分はどのような思いをもつかを考える。</p> <p>【場面③】B男は、バスケット部の後輩のC子からプレゼントをもらっていた。B男はプレゼントを返そうと考える。そして、A子に知られるとどうなるか、少し不安を感じている。一方A子は、後輩のC子がB男にプレゼントを贈っていることを偶然知ってしまった。A子もB男がどう行動するのか、気になっている。</p> <p>この後、A子とB男がよい付き合いを続けていくためには、あなたならどのような行動が望ましいと考えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 個々の考えをワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○【場面③】を拡大して ICT 機器で生徒に提示する。資料4 ○【場面③】の状況について、交際する当事者以外の存在について明確にし、それぞれの立場を確認する。 ○ワークシート（A 5 判程度の用紙で構わない）を配付する。
まとめ	<p>5 4 で考えたことを交流する。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> • 互いに本当の気持ちを伝え合う。 • (プレゼントを受け取るかどうかは関係なく) 相手が傷つかない行動をする。 • (プレゼントについて知っていることを伝えるかどうかに関係なく) 相手の気持ちを信じ、自分の思いだけをぶつけないようにする。 <p>人の考え方は千差万別で、相手が誰であっても、互いの思いを伝え合い、理解し合う努力があってこそ、よりよい関係を築いていける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の意見を板書する。 ◆男女が共に悩んだり葛藤したりする中で、よりよい人間関係を築いていけることに気付いている。また、築いていこうと考えている。 ◆男女がともに、互いの個性を認め、互いに尊重する思いとともに、相手の幸せを考えることの大切さを理解している。


6 指導上の留意点・工夫等

- 本時で参考にした読物作品は3学年を通じて主人公が変わらない続きものである。1年生・3年生でも異性理解に関わる道徳、学級活動等において同じ架空の中学生を登場させると、生徒の思考の流れがスムーズになりやすい。
- 生徒にとって自分の考えを表現することに恥ずかしさを感じやすい内容である。近い意見を選択させる方法を取り入れることで、生徒が考えを表現しやすくなる。例として挙げるA～Cさんとして、身近にいる大人である教師の意見を提示してもよいだろう。生徒は自分の考えが自然な考えであると捉えられる。
- 男子と女子で意見が分かれることがあるので、男性と女性のTTで実践すると効果的である。
- 中学校の保健室では、男女交際や異性に対する特別な感情についての相談がある。相談を受けている養護教諭がTTとして加わることで、中学生が男女交際や異性へ特別な感情について悩みをもつことが、発達段階上自然であることを理解させやすい利点もある。
- 学級活動や道徳、総合的な学習の時間において、人間関係について考える時間がある。それぞれの内容を関連付けて、この道徳の時間を考えることで、他者との関わりで大切なことが、同じように異性との関わりにおいても大切であることを理解しやすい。

7 資料 【板書(例)】



【資料1～4】 ICT 機器提示資料 (例)

1	<p>Aさん</p> <p>プレゼント 負けたくないな。 プレゼントの 質を上げよう。</p>	<p>Bさん</p> <p>他の人から プレゼントもらえるなんて 人気があるな …と思いつつ、 やきもちをやく</p>	<p>Cさん①</p> <p>プレゼントをあげた相手に対して 俺がいること 知ってるんじゃないか。 ケンカ売ってんのか!!</p>	<p>Cさん②</p> <p>プレゼントを受け取った彼女に対して お前、プレゼント 受け取ってんじゃない ねえよ!!</p>
2	<p>Aさん</p> <p>誕生日プレゼントには 変わりないのでらう。 が、 恋人には言わない。</p>	<p>Bさん</p> <p>もらってうれしいな。 でもこのことを知ったら 彼女は ●●●かもしれないので だまっておこう。</p>	<p>Cさん</p> <p>ラッキー。 でも彼女には 内緒にしよー!!</p>	
3	<p>既婚・彼女以外の異性からプレゼントをもらって 『彼氏・彼女には秘密にしよう』</p> <p>其の秘密 ■ [男] そう思う ○ [女] そう思わない</p> 			
4	<p>登校したB男は、机の中に紙包みを見つけた。 「A子がプレゼントを入れたんだな」と思い、周りに気付かれないようにかばんに入れた。チラッとみると小さなカードが添えられていたので、それだけこっそりポケットに入れ、周囲に気付かれないように読んだ。</p>	<p>「B先輩へ ずっと前から先輩のことが好きでした。 ふければお付き合いしてください。 返事を待っています。 C子」</p> <p>(胸がドキドキする！ なんてこった。A子じゃなかった…! C子って、人気のあるカワイイ子だ。 …でもこれ、どうすればいいんだ？ 俺は受け取るわけにはいかないよな。 返すか？返そう…それがいい。 A子がこのことを知ったら、 どうなるんだ…????)</p>	<p>A子は、当然プレゼントを準備していた。早くに登校し、B男の机の中へこっそり入れておいて驚かせようと考えていた。まだ数人しか登校していない学校。A子は急ぎ足でB男の教室へ向かった。が、教室に入れず立ちすくんだ。B男の教室、それもB男の机のところに、後輩らしい女子生徒がいる。しかも、机の中に何か包みを入れている。(あれって…プレゼントだよな…) (B男、あれどうするつもりだろう…)</p>	

【資料5】
教師アンケート例

2年生の道徳の授業に使うので、アンケートにご協力ください!

あなたは (男性 ・ 女性)

場面①

あなたは、中学生 (か高校生) です。あなたには恋人がいます。今日は恋人の誕生日です。もちろんあなたは恋人の誕生日プレゼントを準備していますが、恋人は別の異性から誕生日プレゼントをもらっていました。

あなたは、誰に対して、どんな思いをもちますか?

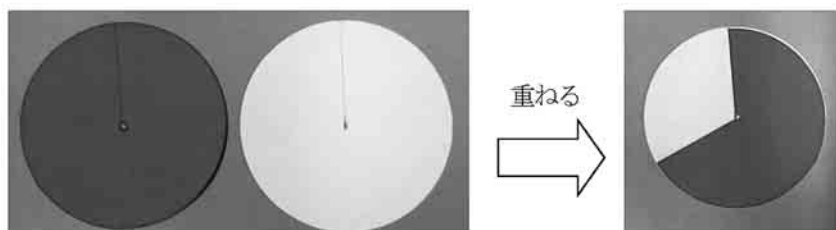
場面②

あなたは、中学生 (か高校生) です。あなたには恋人がいます。今日はあなたの誕生日です。思いがけず、恋人以外の異性から、想いのこもった誕生日プレゼントを渡されました。

あなたはどんな思いをもちますか?

【資料6】
心情円盤

2色の画用紙を用いて、円を切り抜き、中心から切り込みを入れたものを重ねて、グラフを模ったもの。



1 題材名「これからの自分」

2 題材について

中学校3年生は受験を控え、自分の進路と真剣に向き合わなければならない時期となる。義務教育を終え、これから自分自身で未来を切り開かなければならなくなったとき、これまでの自分を振り返り、周囲の人に支えられて成長してきたことに気付かせたい。また、今もなお旧来の異性観が社会の中で影響を残している中、男女共同参画の在り方について考えていく必要がある。

これからの自分を考える中で、身近な生活の場から広く社会における自分の役割を考えさせ、これからも多くの人との関わりの中に自分が存在すること、同性・異性との様々な関わりの中で、自らを律し、他人と協調し、他人を思いやる心豊かな人間関係を育てることができるよう、本題材を設定した。

3 目標

- ・人生での人との出会いや関わり大切さに気づき、交流活動を通してより深めることができるようにする。
- ・共生社会を実現させるために、自分の性役割を考えることができるようにする。

4 教材、領域等との関連的内容

- (1) 社会 「人権と共生社会」
- (2) 技術・家庭 「わたしたちと家族・家庭と地域」

5 指導計画

時	教科、領域	題材名	目標
既習	社会 技術・家庭 学級活動	「現代社会の男女の在り方(性と進路選択)」	<ul style="list-style-type: none"> ・性役割に対する社会的な考え方の変化と現状を知り、性役割に対する自己の考えを深める。 ・社会における男女の在り方が多様であることに気づき、自己の生き方に活かそうとする。
1	総合的な学習の時間	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を振り返り、意欲を高める。 ・学習内容を理解する。 ・「生まれてから15歳までの自分」を振り返り、「15歳から老後までの自分」を考える。
2	総合的な学習の時間	自分史づくり① ～これまでの自分～ ※生まれてから15歳まで	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ交流を通して、周囲の人々に支えられて成長してきた自分に気付く。
3 (本時)	総合的な学習の時間	自分史づくり② ～これからの自分～ ※15歳から老後まで	<ul style="list-style-type: none"> ・人生における人との関わり(男女関係を含む)や協力を理解し、必要性に気付く。 ・社会の中での自分の役割を考える。

6 指導展開例

□:ねらい・課題

■:学習内容

⋯:発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導 入	<p>1 前時までの確認をする。(資料1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人に支えられて成長してきたことを再確認する。 <p>2 老後までの自分史の確認をする。(資料2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学、就職、転職、交際、結婚、出産、職場、家族、社会的地位、環境など、その時々で予想される「出来事」「人との出会い」「自分の役割」を考える。 	<p>○4～5名のグループを作り、司会者を決めておく。</p> <p>○自分史は事前に記入しておき、生徒が自分で持っているようにする。</p> <p>○付箋を一人3、4枚配付する。</p> <p>○結婚や出産など、しなければならないことではなく、それも選択できることであることを伝え、固定概念にとらわれないようにする。</p>
展 開	<p style="text-align: center;">グループでの交流を基に、自分の将来についての考えをさらに深めよう</p> <p>3 グループ内でワークシート(資料2)を交換し、交流をする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">他の人の自分史を見て、付箋にコメントを書き、ワークシート(資料3)に貼ろう。</p> <p>4 交流活動を基に、さらに考えを深める。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">他の人の自分史を見て気付いたこと(共通点など)や、書いてもらった付箋を読み、自分が感じたことをワークシート(資料3)に記入しよう。</p> <p>5 「4」で記入したことを発表する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">これからの人生でもたくさんの人と出会い、関わりをもって生きていくこと。共生社会を実現するためには、性役割をきちんと認識することが必要であること。</p>	<p>○交流用ワークシート(資料3)を配付する。</p> <p>○内容に関して、否定はせず、一人一人を認めた上で多様な感想、意見を書くようにさせる。</p> <p>○共感できた内容を記入するように伝える。</p> <p>○これからの人生も様々な人と関わり、生きていくことを気付かせたい。</p> <p>○机間指導をし、発表者が出なければ、よいものを指名し発表してもらおう。</p> <p>○学級内発表の前に、グループで気付いたことや共通点を話し合わせ、グループごとに発表してもよい。</p>
ま と め	<p>6 本時のまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート(資料3)に本時の感想を記入する。 ・感想を発表する。 	<p>○本時の振り返りをワークシート(資料3)に記入させる。</p> <p>○机間指導をし、発表者が出なければ、よいものを指名し発表してもらおう。</p> <p>◆人との出会いや関わり大切さに気づき、交流活動を通して、より考えを深めている。また、固定概念にとらわれず、共生社会を実現するための性役割を考え、発言したり、記入したりしている。(資料3)</p>

7 指導上の留意点・工夫など

- ・自分史作成は時間が必要となるため、オリエンテーションの時間に一通り記入をさせ、各授業の始めに確認の時間を取ると良い。
- ・3時間目終了後、これまでの学習の振り返りとして一人2分程度のスピーチを考えさせ、発表させるとよい。スピーチ発表の仕方も、班内での発表から、学級内発表、学年発表などと発展させることができる。

8 資料

【資料1】2時間目使用のワークシート（例）

第3学年 「自分の生き方を考えよう」 3年 A組 30番 氏名 札幌ゆき子

自分さがし① ～これまでの自分～

	小学校時代			中学校時代			
	1・2年生	3・4年生	5・6年生	中学1年	中学2年	中学3年	
思い出の出来事	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生時の大きさ 2880g ・新潟で生まれた。母は初産で出産まで30時間かかった。 ・名前由来 ・おじいちゃんが考えてくれた大雪の日に生まれたから雪が良かったみたい ・幼稚園の頃、デパートで迷子になった。母親は必死で探していたが、私はおもちゃ売り場で遊んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会の徒競走で1位になる。 ・学校で友達とケンカする。なかなか仲直りできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スキーで初めての骨折。1週間入院した。 ・長野にキャンプに行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お父さんの仕事で札幌に転校。すごく嫌だったけど、すぐに友達ができた。 ・初の海外旅行（ハワイ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校入学。友達に誘われて吹奏楽部に入部した。 ・初めてのテストは思い出しにくい... 	<ul style="list-style-type: none"> ・大好きだったおじいちゃんが亡くなった。 ・コンクールで金賞！ ・部活で副部長になる。 ・毎日のように競とケンカ 	<ul style="list-style-type: none"> ・かなちゃんと仲良くなる。 ・コンクールで金賞！ ・修学旅行楽しかった！
人との出会い	<ul style="list-style-type: none"> ・両親、祖父母 ・私の誕生を手伝ってくれた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケンカの仲直りを取り持ってくれた「なのみちゃん」とは今でも仲良し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院した病院の看護師さんがすごく優しくした。 ・ハワイで会った「ノア」は忘れられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あきちゃん」と仲良くなる。 ・学校の先生、友達、先輩 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい部活の顧問の先生 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じクラスの「かなちゃん」までは何でも怒せる。 	
自分の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・家族のマスコット？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級ではスポーツ1番。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプでは釣りをしたり、キノコを探ったり、食料採った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんが働き始めたから、夕飯作りは私の仕事になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級では厚生係になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副部長になったから、責任感をもって頑張った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行ではレクの即会をした。 ・家では何もしなくなったかも...
振り返り思うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての子供で、親も大変だったと思うけど、たくさん遊んでくれたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何でケンカになったか今でもわからない。嫌なことしてたのかも... ・けど、なのみちゃんとも仲良くなれた！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・骨折は痛かったけど、続けてきて今は1級！ ・キャンプにたくさん行ったけど、山で1週間生きられそう！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・転校はすごく嫌だったけど、新しい友達できて、札幌に来てよかったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動系の部活に入るつもりだったけど、部について考えた。 ・親とケンカばかりで反抗期突入？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・大変だったけど、部活を続けてきてよかった！みんなのおかげで続けられた！！ 	

【資料2】本時使用のワークシート（例）

第3学年 総合「自分の生き方を考えよう」 3年 A組 30番 氏名 札幌 ゆき子

自分さがし② ～これからの自分～

	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳
予想される出来事	<ul style="list-style-type: none"> ・高校入学 ・吹奏楽部に入部 ・看護学校に入学 ・ファミレスでアルバイトをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師になる ・仕事がうまくいき昇進する ・2年以上交際していた人と結婚。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを2人出産 ・仕事は育児 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが小学校・中学校入学 ・仕事にも完全復帰しバリバリ働く ・趣味でフラダンスを習う 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を早期退職 ・夫が退職 ・年金暮らし ・子どもが結婚！孫誕生。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夫や友達と旅行に行く ・地域のイベントに積極的に参加 ・85歳くらいで寿で死ぬ 	
人との出会い	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい友達、先生と出会う 	<ul style="list-style-type: none"> ・尊敬できる上司と出会う ・仕事で後輩もできる ・将来の旦那様と出会う 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の子どもができる ・ママ友と仲良くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの各学校のママ友ができる ・仕事で新しい人が入ってくる ・趣味仲間ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものお嫁さんや旦那さんと出会う ・孫ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行先で現地の人と仲良くなる 	
自分の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・学級、部活の仕事を引きちんとする ・バイトでは先輩の話を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児をしっかりと肩こる ・職場で後輩に仕事を教える ・仕事家事を両立させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・母親としてしっかり子どもを育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場で頼れる先輩になる ・優しいママになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・専業主婦で夫を支える ・子どもが仕事にときに孫をあずかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動の手伝いをする 	
学びたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命勉強する ・適度な期に人と関わるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・料理の練習をする ・人の話をきちんと聞くようにする ・子どもについて勉強する 	<ul style="list-style-type: none"> ・いとこの子どもとたくさん遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな人が頼れる人が考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・年金制度を調べておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の勉強をする 	

第3学年 総合 **自分の生き方を考えよう**

『自分さがし～これからの自分～』 3年 A組 30番 氏名 札幌 ゆき子

- 1 グループのみんなから感想をもらおう(付箋には名前を記入すること)

・吹奏楽続けるんだね！
・仕事と家庭の両立頑張っ
て！

なつみ

・ゆき子らしい素敵な人生
・フラダンスってかっこい
いね！
若後はハワイに移住した
らいいんじゃない！？

あき

・結婚式にはいくからな！
・昇進早いなー
・子どもは何人ほしいの？

ふゆお

・ゆき子は看護師さんって
感じするわー
・イケメンの旦那をつかま
えて！！

はるき

- 2 みんなからの感想・意見を読んで感じたこと

私らしいんだなーと思った。みんなに応援されているみたい
なので頑張りたい。

- 3 今回の授業を通して、思ったこと・考えたこと・分かったこと等

考えてみると、色々な場面でたくさんの新しい人と出会って
いるんだと思った。今から頑張っていくことが、これからの人
生で役に立つことがあるはず！
本当にこんな幸せな人生が送れたらなと思う。

中学校 エイズを知り、エイズから学ぶ

3年生

1 題材名「エイズを知り、エイズから学ぶ」

2 題材について

スマートフォンやゲーム機などを通して、インターネットへの接続が容易になってきており、SNSを通じた不特定多数との情報交流の機会も増えている。また、性に関する規範意識の低下や逸脱行為、10代の人工妊娠中絶や性感染症感染率の増加等が深刻な問題になって久しい。そのような中、我が国では性感染症の一つであるエイズの感染者が増加の一途をたどっており、早急な対策が必要な状況にある。

道徳としての取扱いとして、エイズに対する不安や偏見を払拭し、差別や偏見のない社会の実現を目指し、望ましい異性観や男女の人間関係の在り方にも思いを至らせるために、この題材を設定した。

3 目標

- ・正義を重んじ、誰に対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。
- ・人間尊重の精神を培い、感染者の人権を守ることが大切であることを知る。

4 教科、領域等との内容的関連

- (1) 保健体育（保健分野）「(4)健康な生活と疾病の予防 エ 感染症の予防」
- (2) 社会（公民的分野） (3)私たちと政治 ア 人間の尊重と日本国憲法の基本原理
- (3) 理科 (3)動物の生活と生物の変遷 イ動物の体のつくりと働き (ア)生命を維持する働き
- (4) 特別の教科 道徳 B-8 友情、信頼 D-22 よりよく生きる喜び

5 指導展開例

□：ねらい・課題

■：学習内容

□□□：発問・指示など

	主な学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入	1 身近な病気について考える。 □□□ 12月頃になると流行るものは何だろう？ <予想される反応> ・風邪 ・インフルエンザ	生徒に「エイズ」「差別や偏見」といった予備知識をもたせないようにしたい。
展開	2 病気と社会との関わりについて考える。 《親友Aさんからの相談》 □□□ 「あなたのお子さんは、インフルエンザにかかっています。他のお子さんとうつると困るので、やめていただきます。」とスイミングスクールに告げられた。 ・当事者の気持ちを想像する。 ・ショック、あり得ない ・治れようつらない ・訴える	親友からの相談という設定で、問題を身近に捉えさせ、客観視させたい。

展 開	<p>3 ワークシートを配付し、エイズについて、まずは個人で考える。(鉛筆で記入)</p> <p>○エイズが抱える問題点について考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「あなたのお子さんは、エイズ(HIV)にかかっています。他のお子さんにうつると困るので、やめていただきます。」とスイミングスクールから告げられた。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者の大人〔親友A、スイミングスクール側、通わせている親など〕の気持ちを想像する。 <p>《親友A》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショック。 ・(母親の自分が) HIV に感染してしまったのが悪い <p>《スイミングスクール》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の子どもの親に知られて通わせないなどのトラブルになったら困る。 <p>《他の子の親》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちの子どもにうつったら困る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズについて、特別なことではなく身近なものとして考えさせたい。 ・大人の立場で考えることで「世間(社会)」の視点で考えさせたい。 ・感染した母親を責める方向にいかないようにしたい。 ・風評被害など営業の視点(社会の目)についても考えさせたい。 ・親の不安についても考えさせたい。 ・差別・偏見について自分のこととして捉えさせたい。
	<p>4 グループ(4人程度)で話し合う。(色ペンで記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較、交流することで自分の感じ方とは違う感じ方をする人がいることを確認する。 <p>5 今回の話題(Aさんの悩み)での問題点は何か、解決するために必要なことは何か、自分たちの考えを発表する。まとまっていない場合は、具体的な問題点と対応策を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「差別や偏見」はどうしたら無くなるだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「差別や偏見」がもつ問題点の本質について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>エイズ(HIV)に対して差別や偏見をもたないようにするためには、エイズ(HIV)について正しく理解することが大切。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・(実例) 2014年8月福岡裁判 [HIV感染：勤務先病院に「就労制限で不当」と賠償命令] ◆感染者(症)に対する誤解について考えることができる。 ◆差別や偏見を克服するために自分なりに考えることができる。
ま と め	<p>6 親友のA子さんにどのように答えたらよいかを考え、ワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辛かったね。大丈夫だよ。 ・私も一緒に話しに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が大人になったと仮定して、自分の言葉で書かせたい。 ◆感染者の心情に寄り添って考えることができる。

6 指導上の留意点・工夫など

- 「エイズ」について取り扱う場合、保健体育科などの授業で科学的知識をもった上で取り扱いたい。
- 「インフルエンザ」と「エイズ・HIV」を同列に並べる場合、感染方法の違いを混同させないように気をつけたい。(HIVは飛沫感染や接触感染することはない。)
- 「エイズ(AIDS)：後天性免疫不全症候群」と「HIV：ヒト免疫不全ウイルス」の違いについては、ここでは深く追究しない。
- 「スイミングスクール」側の立場に立った場合、「風評被害」という側面もあるが、それ自体が正しい知識をもっていない「偏見」であることに気付かせたい。
- 今回は、感染力の弱さ(水中ではHIVは生きられない)を学ばせるために「スイミングスクール」を設定したが、学級の実態に応じて「サッカー(部活・スクール)」や「吹奏楽部」(汗や唾液)といった設定も考えられる。
- 「偏見・差別」について考えさせるとともに、感染しないための知識の必要性についても意識させたい。

[板書例]

《対応策》

①B子にHIV検査を受けさせる。

②三つの感染経路について理解してもらう。

③HIVについて正しく理解してもらうように働きかける。

◎問題を解決するために必要なこと

- ・エイズ(HIV)に対する差別や偏見をもたない(そのためには)
- ・正しい知識をもつこと

《問題点》

①Aさんが自分の子どもがHIVに感染(母子感染)しているのか、確認していないこと。

②スイミングスクール側が日常生活では感染しないことを知らないこと。

③同じスイミングスクールに通っている子どもや保護者がエイズについて正しい知識をもっていないか不安に思っていること。

◎HIV

- ・保健所の医師
- ・アドバイス
- ・三つの感染経路
- ・血液感染
- ・母子感染
- ・性行為による感染
- ・感染しない
- ×プール
- ×タオル共用

◎あなたならどうするか？

あなたのお子さんは、エイズ(HIV)にかかっています。他のお子さんにうつると困るので、このスイミングスクールには通えませんか。やめていただきます。

- ・あり得ない
- ・治ればうつらない
- ・訴える

◎親友Aさんの悩み

あなたのお子さんは、インフルエンザにかかっています。他のお子さんにうつると困るので、このスイミングスクールには通えませんか。やめていただきます。

12月1日
世界エイズデー

【「エイズを知り、エイズから学ぶ」ワークシート】

※人権に関する社会教育指導資料（栃木県）「人権問題 HIV 感染者に対する偏見をなくそう」より

Aさんの悩み

- ① 親友（Aさん）の子ども（B子）とあなたの子ども（C子）は、同じスイミングスクール（SS）に通っています。ある日、Aさんが相談にのってほしいとあなたの家にやってきました。
- ② Aさんは真剣な表情で、苦しい胸の内を話してくれました。それはAさんが HIV に感染していること。そして、そのことを理由に子どもがスイミングスクールから一時的に通うことを拒否されていること。
HIV：ヒト免疫不全ウイルス
- ③ Aさんから「うちの子どもは水泳が大好きで、今までどおり、他の子どもと一緒に、スイミングスクールに通わせたいのに…。いったい私はどうしたらいいの?!」と相談を受けました。

※自分の考えは鉛筆で記入 他の人の意見は色ペンで追加記入

問1 それぞれの立場で考えよう。

Aさん（母親）	スイミングスクール（運営者）	SSに通わせている親
<ul style="list-style-type: none"> ・ショック ・（感染してしまった）私が悪い ・子どもに責任はない ・通わせてやりたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・B子さんは通わせてやりたいが ・他の子どもにうつたら大変 ・風評被害にならないか心配 ・他の子どもが辞めたら困る 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の子どもにうつらないか心配 ・一緒のプールで大丈夫かしら ・他のSSに通わせようか。

問2 あなたならどうしますか？

対応策

- ①B子に HIV 検査を受けさせる。
 - ・もし、陽性の場合は保健所の医師から今後の生活・治療についてアドバイスが受けられる。
- ②三つの感染経路について理解してもらう。
 - ・コンドームなどを用いない性行為による感染、
 - ・注射針の共有などの血液感染、
 - ・母子感染に限られる。
 - ▲水を介して感染することはない。
 - ▲タオルの共用などでの感染もない。
- ③ HIV について正しく理解してもらうように働きかける。

問題点

- ①Aさんが自分の子どもが HIV に感染（母子感染）しているのか、確認していないこと。
- ②スイミングスクール側が日常生活では感染しないことを知らないこと。
- ③同じスイミングスクールに通っている子どもや保護者がエイズについて正しい知識を持っているか不安に思っていること。

問3 問題を解決するために必要なことは？

- ・（エイズ（HIV）に対する）差別や偏見をもたないこと
→（そのためには）→（エイズ（HIV）に対して）正しい知識をもつこと

問4 親友のAさんにどのように声を掛けますか？

- 辛かったね。大丈夫だよ。
- 私も一緒にスイミングスクールに話しに行ってあげるよ。